

# アムロジピン錠 2.5mg「TCK」の溶出試験

辰巳化学株式会社  
第一研究所  
研究開発部

## ・ 溶出試験

アムロジピン錠 2.5mg「TCK」およびノルバスク錠 2.5mgの溶出試験結果をTable 1～4、Fig 1～4に示した。

アムロジピン錠 2.5mg「TCK」はpH1.2、pH4.0、pH6.8及び水の4液全てにおいて10分で90%以上の平均溶出率を示した。

## ・ 結果

アムロジピン錠 2.5mg「TCK」の溶出速度は試験結果よりpH1.2、pH4.0、pH6.8及び水の4液全てにおいて10分で90%以上の平均溶出率を示した。このことからアムロジピン錠 2.5mg「TCK」は胃内pHの個人差等の影響をさほど受けない溶出特性を示す製剤であると思われる。

Table 1

pH1.2 平均溶出率 (%)					
溶出時間(分)	5	10	15	30	45
アムロジピン錠 2.5mg「TCK」	101.3	95.7	92.7	89.6	86.6
標準製剤	98.0	96.1	92.8	89.1	85.9

Table 2

pH4.0 平均溶出率 (%)					
溶出時間(分)	5	10	15	30	45
アムロジピン錠 2.5mg「TCK」	96.9	91.6	89.0	86.1	84.3
標準製剤	99.6	97.9	96.0	93.2	91.7

Table 3

pH6.8 平均溶出率 (%)					
溶出時間(分)	5	10	15	30	45
アムロジピン錠 2.5mg「TCK」	83.9	92.0	93.5	96.1	93.4
標準製剤	73.6	90.4	90.5	91.4	88.4

Table 4

水 平均溶出率 (%)					
溶出時間(分)	5	10	15	30	45
アムロジピン錠 2.5mg「TCK」	88.4	96.6	95.0	92.2	90.4
標準製剤	71.3	94.4	97.4	95.7	94.0

Fig 1

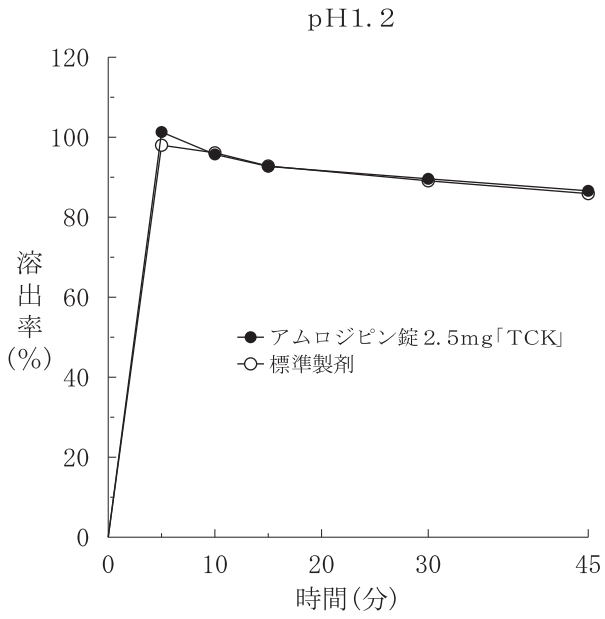


Fig 2

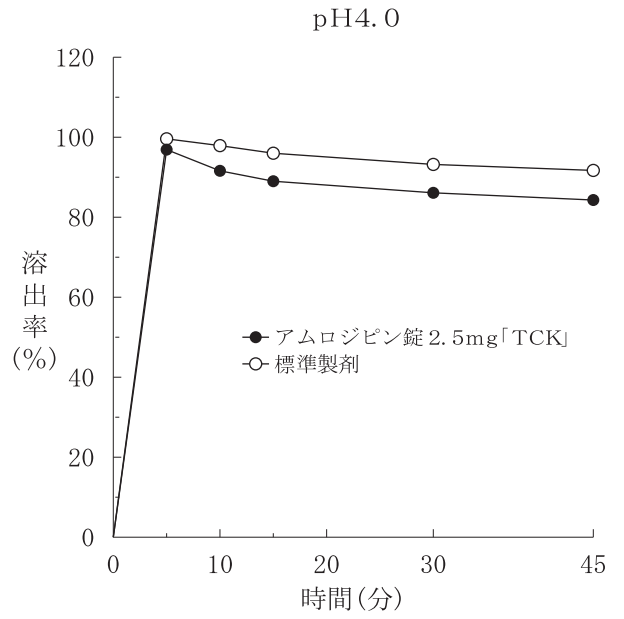


Fig 3

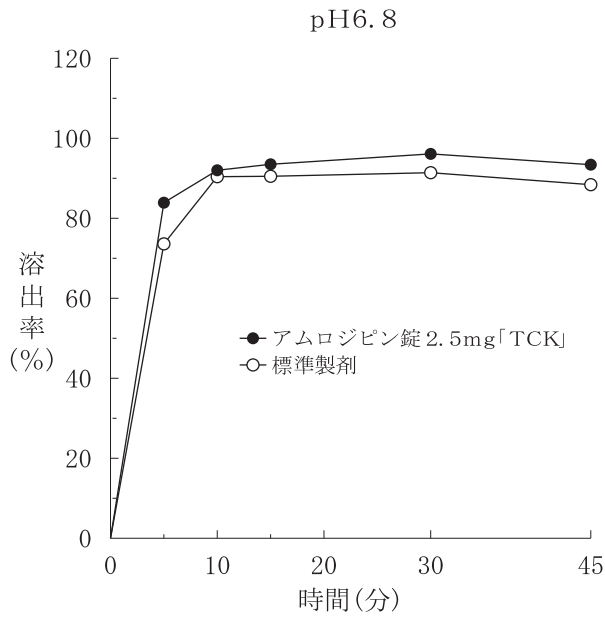


Fig 4

